

令和 7 年 12 月 1 日

東北大学

総長 富永悌二 殿

一般財団法人 東北開発記念財団

代表理事 菅 村 和 夫

## 令和 8 年度海外派遣援助の募集案内について

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当財団の事業につきましては、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当財団では令和 8 年度海外派遣援助者の募集を行うことになりました。つきましては、別添のとおり募集案内をお送り致しますので、関係の方々にご周知をいただき、ご利用下さるようご案内申し上げます。

この事業の実施にあたりましては、関係各位に多大のお手数をおかけいたしますが、事業の趣旨をご理解いただき、よろしくご配慮頂きますようお願い申し上げます。

まずは、お願いかたがたご案内申し上げます。

敬具

募集案内と応募様式は下記に掲載しています。不明な点は問合せください。

Homepage URL [http:// touhokukaihatsu.la.coocan.jp](http://touhokukaihatsu.la.coocan.jp)

E mail : [tohoku\\_kaihatsu@nifty.com](mailto:tohoku_kaihatsu@nifty.com)

## 令和 8 年度海外派遣援助希望者募集案内

一般財団法人 東北開発記念財団

### 1 目 的

この事業は、宮城県内の高等教育機関・研究機関などに、教員・大学院生・事務職員などとして在籍する者が、産業・技術・文化等に関する特定の課題の研究・調査・研修を目的とする海外派遣について、渡航に係る費用の一部を援助することにより、海外派遣の目的の達成を促進し、地域の国際交流の進展に寄与することを目的としております。

### 2 申請資格

- (1) 宮城県内の高等教育機関\*1・研究機関\*2などに、教員・大学院生\*3・事務職員\*4などとして在籍する者としてします。但し、その国籍は問いません。
- (2) 研究等を指導する地位にある者(指導教員等)の推薦を必要とします。
- (3) 年齢は、原則として満 4 5 才未満とします。(海外へ出発する日が属する年度の 4 月 1 日現在の年齢とします)
- (4) 海外派遣の目的を達成するため、経済的援助を必要とする人としてします。

- ・\*1 高等教育機関とは、大学・高等専門学校
- ・\*2 研究機関とは、大学附置研究機関・公立研究機関・民間研究機関・公立試験研究機関
- ・\*3 大学院生とは、本援助への申請時に博士後期課程在籍中もしくは、それに準ずる者
- ・\*4 事務職員とは、在籍機関において海外派遣に関係する業務を担当する一定の技術・技能・知識を有する者

### 3 援助の対象となる海外派遣

この援助は、産業、技術、文化等に関する特定の課題の研究・調査・研修を目的とする海外派遣であって、次の各号に該当するものを対象とします。

- (1) 海外の研究機関等において、専門分野の研究・調査等を独自にまたは共同して行うことを目的とする海外派遣
- (2) 海外の特定の地域または機関等において、実態または実情の調査・視察等を行うことを目的とする海外派遣（親善交流を目的とするものを除きます）
- (3) 海外の試験研究機関等において、特定分野の研修・視察等を行うことを目的とする海外派遣
- (4) 海外の国際会議、研究集会等に参加し、研究発表・講演・討議等を行うことを目的とする海外派遣（聴講、親善を目的とするものを除きます）

- (5) 留学生等の受け入れの諸条件を改善するため、外国の事情、慣習または外国における留学生等の受け入れの状況等について、調査研究・研修・視察等を行うことを目的とする海外派遣
- (6) 前各号のほか、これらに類する目的を有する海外派遣

#### 4 海外派遣の時期

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までに海外へ出発する海外派遣とします。

#### 5 援助の内容

援助の内容は、海外派遣に係る渡航費および海外移動費とします。

- (1) 渡航費は、海外の主要な目的地までの渡航往復航空運賃とし、最も経済的な経路での渡航実費と認められる範囲内で、その相当額(査定額)を補助します。
- (2) 海外移動費は海外での移動に係る費用とし、見積が明確と認められるものについては補助することがあります。なお、日本国内の移動費用については補助しません。
- (3) 滞在費は、海外滞在に係る費用とし、補助対象とします。
  - ① 滞在費に係る援助日数は、海外滞在の初期の期間に限定して、海外派遣の目的等によって定めます。
  - ② 海外滞在の期間は、海外の目的地に到着の日から、帰国のため海外の滞在地を出発する日の前日までの期間とします。
  - ③ 滞在費は、援助日数に一定額（2 万円以内/日）を乗じて算出します。

#### 6 援助の金額

海外派遣者 1 人の援助金額は、渡航費、海外移動費および滞在費を含め、総額で 5 0 万円を限度として査定します。

援助の金額は、海外派遣の目的、内容(目的地・旅行の時期・日程等)、その他の事情を勘案して決定します。

#### 7 他の援助との関係

- (1) 同一の海外派遣について他から渡航旅費が支給される場合は、支給される旅費の内容の区分(渡航費・海外移動費・海外滞在費等)に応じ、その支給される項目に係る旅費については、原則として援助されません。
- (2) 本財団が行っている外国人留学生修学援助と、この援助を同一年度に併せて受けることはできません。

#### 8 募集方法

募集は、前期・後期に分けて行い、前期の募集は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までの期間(1 年)内に、後期の募集は、令和 8 年 1 0 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までの期間(6 か月)内に、それぞれ海外へ出発する海外派遣を対象とします。

## 9 募集人員

	30名程度
前半期(4月～9月出発の海外派遣)	15名程度
後半期(10月～3月出発の海外派遣)	15名程度

## 10 申請手続き

援助を希望する研究者等は、申請書類を整えたうえ、原則として在籍機関を通じ、所定の期日までに本財団に提出してください。

なお、申請書類の提出にあたっては、提出書類がすべて整っていること、記載事項に漏れがないことを必ず確認してください。

## 11 提出書類

援助の申請にあたって提出する書類は、次のとおりとし、提出部数は、それぞれ1部とします。

- |                  |          |
|------------------|----------|
| (1) 海外派遣援助金交付申請書 | 別紙C様式第1号 |
| (2) 略歴書および推薦書    | 別紙C様式第2号 |

推薦者は研究等を指導する地位にある者(指導教員等)とします

- (3) 在籍証明書
- (4) 旅行日程

年月日、経路、交通機関、目的地(国名・都市名・訪問先)、調査研究事項等を記載したもの。

- (5) 旅行代理店による渡航費等の見積書

旅行の日程・経路・交通機関・旅行先等の旅行条件のほか、旅費については、渡航費・海外移動費・滞在費等の費用内訳を明らかにしたもの。渡航費については、最も経済的な経路で、かつ低廉なものとしします。

- (6) その他参考となる資料

本人の研究経歴書、海外派遣の趣旨・内容を明らかにする資料、国際会議等のプログラム(写し)、研究発表内容のアブストラクト(和文あるいは英文、提出必須)、渡航先研究機関等からの招待状(写しー和訳を付してください)等がある場合は、添付してください。

## 12 提出期限および提出先

申請書類の提出期限、提出先は、次のとおりとします。

- (1) 本財団への提出期限

前 期	令和8年	1月14日(水)	必着
後 期	令和8年	7月15日(水)	必着

- (2) 提出先

〒980-0811

仙台市青葉区一番町四丁目1番25号(東二番丁スクエア4階)

一般財団法人 東北開発記念財団

Tel. 022-738-8826

### 13 選考および決定

- (1) 本財団は、提出された申請書類に基づいて審査を行い、援助の対象となる研究者等を選択し、援助の金額等を査定したうえ決定します。
- (2) 決定の結果は、本人および在籍機関の長または所属の長あてに通知します。  
通知の時期は、概ね次の予定です。

前 期	令和 8 年 4 月上旬
後 期	令和 8 年 9 月上旬

### 14 選考基準

選考にあたっては、次の各号に該当するものを優先しつつ、その他の諸条件を含めて総合的に判断し、適格者を選考します。

- (1) 海外派遣の目的がこの事業の趣旨によく添うものであり、この援助によってその効果を高められるもの。
- (2) 若年、その他の事由により、援助の必要が特に高いと認められるもの。

### 15 援助の方法

- (1) 援助の方法は、海外派遣の時期を勘案し、原則として次の時期に、研究者等の指定する国内の銀行口座に一括して振込み送金します。

前半期( 4 ～ 9 月)出発の海外派遣	4 月中旬
後半期(10 ～ 3 月)出発の海外派遣	10 月中旬
- (2) 送金の時期は、援助決定の通知の際、本人あてに通知します。

### 16 報告書の提出

この援助を受けた研究者等は、帰国後速やかに(原則として1か月以内)、報告書(別紙C様式第3号)と援助費の支出実績報告(別紙C様式第4号)を本財団に提出してください。

- (1) 所定の報告書の用紙は、援助決定の通知の際、本人あてに送付します。
- (2) 報告書の様式については、所定のものによらない任意に作成された報告書であっても、差し支えありません。

なお、この募集案内について不明な点がある場合は、本財団にお問い合わせ下さい。

Homepage URL      <http://touhokukaihatsu.la.coocan.jp>

Email Address      [tohoku-kaihatsu@nifty.com](mailto:tohoku-kaihatsu@nifty.com)

以 上